

第3回 保育のお仕事ステップアップ講座

日時：令和7年11月12日（水） とちぎ福祉プラザ 福祉研修室

10時00分～ 「幼児体育講座」 河田 隆 氏

13時00分～ 「幼児造形講習」 矢生 秀仁 氏



「子どもの発育・発達と身体活動の関係」 宇都宮共和大学 副学長 子ども生活学部 教授 河田 隆氏

講座の内容

- 現代社会の子どもの発達課題と現状
- Scammon 発育・発達曲線
- 運動・身体活動の意義 運動遊びの実践

生活環境の変化による子どもたちの運動能力低下問題から乳幼児期に様々な運動要素をもつ遊びの経験をする事の大切さ、発達段階に応じた働きかけ、基本的生活習慣を身につけることが発育・発達には最も重要なことから、家庭への働きかけが必要ということ学びました。運動機会の

減少の影響で、経験がないから“できない”→できないから“やらない”というケースもみられ、情緒の安定にも影響が懸念されるとの事を伝えられていました。実技では、普段の保育の中で楽しんでいる手遊びから運動遊びへの発展を実践しました。保育に取り入れるポイントを具体的に学ぶことができ、保育にすぐ活かせるような簡単で楽しい遊びの知識を習得することができました。



《参加者の声》

- ・栃木県の子どもの運動能力の現状を踏まえつつ、心身共に健康であるためにはどのような環境を作ればいいのか等、考える機会となりました。“だるまさん”や“おちたおちた”等、すぐ現場で活かせるような内容もありが良かったです。
- ・手遊びから運動遊びへの展開について、それに伴う話術について学ぶことができ、保育に活かしていきたいと思いました。
- ・普段の保育の中で行っている手遊びが工夫一つで運動になるという事に「なるほどな～」と感心しました。
- ・小学生前の乳幼児期から発達段階に応じた様々な運動の経験が大切だという事を改めて実感し、今回学んだことを仕事に取り入れていきたいと思いました。
- ・家庭での運動の位置づけと運動神経（調整力）が密接に関係しているという事を念頭に、保護者への働きかけが必要だとよくわかりました。
- ・講義内容も楽しく、今後活用できるものばかりで、とても良い勉強になりました。
- ・現場ですぐ活かせる講座でした。身体を動かして実践できたので良かったです。
- ・運動の経験を通して、情緒や他者を思いやる気持ちが育つことが理解できました。



講座の内容

- 造形活動の本質
- 造形活動における保育士の関わり
- 造形活動の展開のポイント

『こどもの造形活動を学びなおすことで、保育がもっと楽しくなる』をポイントに、子どもの造形活動における保育士の関わりについて、実技を取り入れながらの受講となりました。子どもの表現の発達段階、造形活動の本質をとらえ、一人ひとりの成長・発達に寄り添う関わりや環境

を整えることの大切さを実践を交えながら学びました。『評価から共感へ』子どもたちが安心して表現できる環境づくりの一つとして、導入時の見本を上手く作らないことで上手い・下手を気にしない雰囲気づくりをし、作ったら遊ぶ。形の組み合わせと見たてからごっこ遊びへと展開し、想像し表現することを楽しむ…を実践。参加者から、とても大切な学びになったとの声をたくさんいただきました。自由に切った色画用紙と新聞紙を使い、先生と一緒に参加者全員で作り上げた作品は、その一つ一つが個性的でありながら全体のテーマにそってまとまり、皆さん写真にのこされていました。

造形活動を通して表現する楽しさを実感し、保育の中で子どもたちと一緒に思いを共感しながら想像を広げ、ごっこ遊びへと展開し楽しむことに活かせる内容でした。



《参加者の声》

- ・作って遊ぶことで上手い下手は無くなる、自分が下手な絵を描くことで安心する、たくさんの気付きがあり大変勉強になりました。
- ・造形活動時の声かけは？…評価してしまいがちだが、そうではなく、ごっこ遊びの中で「おいしそうだね」「先生も食べたいな」など共感する声かけが『心』を育てるということを学びました。
- ・自由に切った紙を組み合わせ、色々な形ができて、一人ひとり違うから面白いと思いました。
- ・造形って楽しい！と、改めて思えた時間でした。また、自分が担任している子どもたちにも、そう思ってもらえるよう保育していきたいと思いました。
- ・“上手い、下手ではない”、“作ったら遊ぶ！”、それだけで下手な子どもも不安にはならない。飾るのではなく遊ぶことが大切であると学びました。
- ・造形活動・表現、楽しかったです。遊びを通して想像力が身につくことを理解しました。
- ・表現活動の時、段階をよくみて一人ひとりに合わせた言葉かけができるようにしようと思いました。楽しい！やりたい！と思える造形活動をしていきたいです。
- ・子どもの造形はいろいろな可能性があることに気付くことができました。
- ・紙と新聞紙だけで素敵な作品ができることに感動しました。
- ・「下手でも良い、下手は安心の言葉」が良かったです。

